



# ふれあい 放水路

1995  
(平成7年)  
第11号  
2月



## 北からの使者

—白鳥—

山陰のここ出雲地方にも冬の訪れとともに神戸川にコハクチョウの姿が見られます。今年も十一月下旬頃から親子十数羽、妙見橋付近から河口の間に飛来し、その川面に浮かぶ姿は優雅で、カモやカモメなどといったよにいてもひときわ目立ち、「白鳥の湖」の趣を高めます。

川の近くに住んでいる出雲市西園町の福岡幸子さんによると、十五、六年前、川べりにある畑で仕事をしているとき、目の前の川に一羽の大きな白い鳥を見、すばらしさも手伝つてパンくずやゴミなどをやり始めたところ、数も年々増えて多い年には三十数羽になったそうです。

神戸川、神西湖は白鳥飛来の南限と言われ、約3km離れている双地を行き来し、三月の初めの北帰行まで続くようです。



馬木町北地区 出雲市馬木町の馬木不動尊周辺一帯

## 2. 景観

### ■ 文献・現地調査結果

開削部周辺では、低山地の尾根と谷筋が連続し、谷筋には、農耕地や水路が分布し里山的な景観となっています。また、拡幅部周辺では、上流部で山林が迫り、川幅が狭く、蛇行しているものの、中・下流部では、川幅も広く、流れも穏やかになり、周辺には田園風景が広がっています。

学術上の観点から重要と認められるものとして、長浜海岸、出雲市まちづくり景観条例で景観形成地域に指定されている馬木町北地区及び野外レクリエーション地として中国自然歩道があります。

### ■ 予測・評価結果

長浜海岸及び馬木町北地区は、その一部が工事実施予定区域に含まれますが、ほとんどの区域は残され、現状の景観が維持され放水路建設による影響は少ないと考えられますが、工事の実施にあたっては、可能な限り自然環境の保全が図られるよう配慮します。

中国自然歩道は、放水路の建設に伴い、橋梁の架替え等により歩道区間としての機能を復元しますので、放水路建設による影響はないと考えられます。

## 3. その他

放水路建設により生じる工事騒音、振動、濁水等については、関連法令に従い、生活環境並びに自然環境の保全に努めます。

なお、工事中及び完成後予測し得なかった環境への著しい影響の発生がみられた場合は、必要に応じて環境に及ぼす影響について調査し、適切な措置を講じます。

# 放水路事業に係る環境影響評価の概要

## その4 環境影響評価の調査結果(地形・地質、景観編)

斐伊川放水路事業において、関係地域の環境に与える影響についての事前の調査結果を、11月号より紹介してきました。  
最後に、地形・地質、景観の調査結果について紹介します。

## 1. 地形・地質

### ① 地形

開削部周辺は、南に向かって徐々に高さを増す緩やかな丘陵地からなっています。一方、拡幅部上流部には、神戸川によって山から運ばれた土砂が形づくった三角洲性の低地が広がり、中・下流部には過去の神戸川の蛇行や氾濫で作られた自然堤防や砂洲が広く分布し、神戸川河口付近には、長年の海流と北西の季節風によって作られた砂丘が形成されています。

学術上等の観点から重要と認められる地形として、砂丘があります。

### ② 地質

開削部周辺の丘陵地には、大森層・布志名層と呼ばれる約1,000万年前の砂岩を中心としたやや堅い地層が分布しています。一方、拡幅部周辺には、洪積層および沖積層と呼ばれる、数十万年前から現在までの間に形成された軟らかい泥・砂・礫を中心とした地層が広く厚く分布し、河口付近には砂丘が分布しています。

学術上等の観点から重要と認められる地質はありません。



長浜海岸 神戸川河口部周辺に延長4.1km、幅100mで分布



中国自然歩道 崎屋橋及び崎屋橋下流右岸の一部を通る

# 工事情報 コーナー

## 順調に進む大井谷掘削工事

昨年一二月から掘り始めた開削部の大井谷の山は日々ここにその形を変えつつあります。

掘削作業は、写真のように、大型の建設機械を用いて行っており、少人数で大量の土砂を掘ることができ、効率よく工事が進んでいます。

一月末現在、今年度分の工事量（約三六、〇〇〇㎡の掘削）のうち約二八％を既に掘り終え、更にピッチをあげているところです。掘った土砂は、ダンプトラックにより古志地区と朝山地区の土地改良事業用地に運び、利用されています。工事は三月末に完了する予定です。

### 工事箇所



## ふれあい 放水路

### 通信

## 阪神・淡路大震災に 対する支援活動

一月二十九日から二月三日まで、中国地建の第四次支援隊として、出雲工事事務所からも私を含め六名が神戸へ向かい、国道一号のパトロールや衛星通信車による復旧状況情報収集を行いました。

現地では当面の復興は進んでいます。肉親や家をなくし、不自由な暮らしを余儀なくされている人が大勢おられ、今後でもできる限りの物心両面の支援を行っていきたいと思います。

この間、監督官詰所を留守にし、ご迷惑をおかけしました。  
(建設監督官)



### 「川づくり・まちづくり相談室」

川づくり・まちづくりについてご意見・ご要望がございましたら、お寄せ下さい。

室長：佐藤副所長  
窓口：工務課



**建設省中国地方建設局  
出雲工事事務所**

〒693 出雲市塩冶有原町5丁目1番地  
☎(0853)21-1850

本誌に関するご意見やご要望などがございましたらお寄せください。

問い合わせ先：ふれあい放水路担当